

東北風景街道協議会委員による現地視察結果

日時：平成24年6月27日(水)～28日(木)

場所：秋田県能代市

日本風景街道『のしろ白神の道』では平成21年度に現地視察を実施しており、その際のアドバイスを受けて、パートナーシップが実施している取り組みについての評価と今後のアドバイスをもらうため、東北風景街道協議会委員(志賀委員、堀委員)にご同行頂き、地域資源の視察およびパートナーシップ(『のしろ白神ネットワーク』)との意見交換会を行いました。

1. 現地視察

視察においては、上町ホットステーション、黒松街道、秋田県立大学木材高度加工研究所、道の駅「みねはま」、八峰町手這坂、毘沙門憩いの森公園などの地域資源の説明を受けました。その中で委員の方からは、上町ホットステーションでの入りやすい配置や歩道上の花の飾り方などについてアドバイスを頂きました。



『上町ホットステーション』



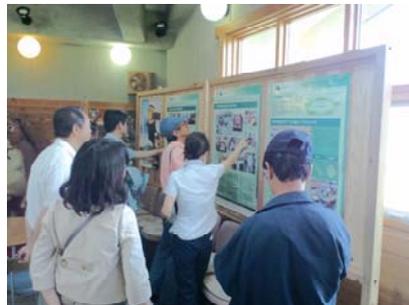
『花の飾り方の指導』



『黒松街道』



『秋田県立大学木材高度加工研究所』



『道の駅「みねはま」』



『八峰町手這坂(かやぶき集落)』

2. 意見交換会

のしろ白神ネットワークは色々な分野の方がつながって構成されており、そのつながりをさらに強化することが観光客を呼ぶことにつながるのではないかと話がありました。また、八峰町手這坂(かやぶき集落)について、人に住んでもらうことを最優先に考えていくべきとの意見が出されました。



『意見交換会』

意見交換ではパートナーシップから、東北の冬は寒く、店舗の外でカフェを運営せず、店舗内に常設の方がよいのではないかと質問が出されました。それに対して委員からは、冬0点、夏100点の整備を目指すべきで、最高条件のときにお客さんに混んでいて座れなかった、商品を買えなかったなどの思い(クレーム感情)を植え付けることができれば、条件が悪いときでも集客が可能になるとのアドバイスを頂きました。